京都大学ジャパンゲートウェイ構想（JGP）のロジックモデル

インプット

スーパーグローバル大学創成支援事業補助金

物品費
設備備品費、教育関係消耗品

人件費
外国人教員、スーパーグローバルコース専任教員、国際教育アドミニストレータ（IEA）

謝金
講師謝金、TA

旅費
教員招へい、パートナー大学との打合せ

その他
教務システム改修費、教員研修費、FD等開催費、文書翻訳費、印刷製本費、広報関係費等

運営費交付金（基盤的経費等）
学生交流支援費、トップレベル大学からの教員雇用費・教育研究環境整備費等

アクティビティ

- 世界トップレベル大学との共同実施科目の実施、他研究科等への展開
- スーパーグローバルコース実施
- 国際共同学位プログラム（JD/DD）の実施

- Kyoto iUP事業（学士課程国際教育プログラム）の実施
- 協定校との学生派遣・受入プログラムの実施
- 国際アドミッション支援オフィスの設置・運営
- 特色入試の実施
- IEA等による留学支援体制の構築
- MOOCs作製・配信

- 国際戦略本部のトップマネジメントによる国際戦略運営体制の構築
- 外国語による情報発信
- 国際通用性を見据えた人事制度の導入

アウトプット

戦略的・創造的・継続的な国際教育プログラムに基づく徹底的な国際化

- 世界トップレベル大学教員との共同実施科目の増加
- 英語による授業科目、英語のみで卒業できるコースの増加
- 教育システムの国際化

- 海外派遣学生数の増加
- 質の高い留学生の受入増加
- 国際標準かつ高度な教育を受けた学生の増加
- 学生の国際共著論文増加
- 学生派遣・受入体制の整備

- 外国人教員の増加
- 国際化戦略の改善
- 組織再編
- 規程整備
- 高度専門職員の増加

初期アウトカム

教育プログラムの構築
- 質保証された英語教育コースの構築
- 学部・大学院教育の国際化

次世代卓越人材の育成
- 国際共同教育プログラムによる卓越人材の育成
- 世界トップレベル大学の教員による共同論文指導体制

世界トップレベルの研究者ネットワーク
- トップレベル研究者との共同研究
- 若手研究者の国際的活躍

組織・ガバナンス
- 総長のイニシアチブの下、国際戦略本部による本学の国際戦略に係る施策の意思決定
- 国際化に対応できる柔軟な人事システム

中・長期アウトカム

徹底的な国際化により研究情報と研究人材が日常的に行き交うネットワークを構築

ワールドプレミアム高等教育ネットワーク（WPHEN）のハブとしての京都大学

- ◆ WPHENの構築を介した次世代卓越人材育成の推進
- ◆ WPHENのジャパンゲートウェイにふさわしい全学教育研究環境・インフラの整備
- ◆ 国際化に伴う共同実施体制の確立
- ◆ 教職員、在学者、卒業者のネットワーク構築
- ◆ 産業界・研究機関との共同研究開発の推進

補助金終了後の自走化
- ・運営費交付金（旧機能強化分）
- ・外部資金獲得
- ・国際的な産学連携による資金獲得

JGPの成果普及

持続的かつ発展的な研究・教育による国際的評価向上

Impact

地球社会の調和ある共存
地球規模での人類社会の課題解決

独自の取組み

国際言語実践教育プログラム、学部・大学院グローバルコース、博士課程リーディングプログラム、卓越大学院プログラム、スーパージョン万プログラム、白眉プロジェクト等